

■ 2020年（令和2年）度男女共同参画推進小委員会勉強会まとめ

1. 概要

名称	2020年（令和2年）度男女共同参画推進小委員会勉強会
開催日時	2020年10月18日（日）14:00~16:00
主催等	（社）日本技術士会四国本部男女共同参画推進小委員会
参加費	無料
参加者数	小委員会メンバー14名（総18名）
プログラム	自己紹介 男女共同参画小委員会の活動について →男女共同参画推進小委員会の経緯について 事前に収集した議題について 議題についてポストイットに意見を書いてみよう 意見交換 アンケート（本日のふりかえり）

2. 自己紹介

今回の勉強会は、小委員会メンバーの初めての会合でもあったため、最初に自己紹介カードによる自己紹介を行った。

自己紹介カードの項目は、①氏名、②所属・専門分野、③仕事の概要、④最近気になっていること、の4つとした。それぞれの自己紹介カードを以下に写真で示す。



写真1. 自己紹介カード

3. 意見交換のまとめ

キーワード	ポストイット意見
今後の活動内容について	
方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ できる時に、できる事を！をお願いします（馬場） ・ 出来る範囲での参加、他分野・団体との連携！！（岩井）
技術サロン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女子社員、学生ワークショップ（リモートでも） あわなでしこ技術サロン（仲間） ・ 愛媛にも来て下さい（日野） ・ 幅広い範囲の人が参加できるようにしていく（中根） ・ 四国の各県の窓口係お願いしたい（四国なでしこ技術サロン） 香川→末次さん 愛媛→日野さん 高知→中根さん（花岡） ・ 四国なでしこ技術サロン 徳島→香川→愛媛→高知の順に開催（花岡）
科学体験フェス	<ul style="list-style-type: none"> ・ モノづくり コケ玉 何か技術的な（小藤） ・ 科学体験フェスティバル 青年技術士交流会の主導でお願いしたい（花岡）
女子社員の定着について	
理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの人たちの理解、先輩女子社員の存在（富士） ・ 相談しやすい女性社員（男性でも）の存在（小藤） ・ 家庭を持った時に、他の社員（特に男性+独身女性）がどれだけ仕事時間、休み等に理解をしてあげられるか、思いやりよね。30 数年間この業界で働いていて、家庭（子供）をもちながら仕事をしている女性の大変さを理解しない男性が多いことにおどろく（馬場） ・ 業務のサポート：例えば妊娠や子育て中の環境（岩井） ・ 周りの人と協力し、いつでもサポートできるようにしておく（山川） ・ 互いの理解！思いやり（春口）
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来的に継続して柔軟に働ける環境にあるのか。資格の取得も取れるときにチャレンジして取得する（山川） ・ 社内結婚が増えてきた。男女の価値観の変化を感じる。女子社員の異動、転勤への配慮（岩井） ・ まだまだ長時間労働、転勤がきつい（日野） ・ 社内雰囲気（文化）の改革？（改善）（仲間） ・ 重要な仕事を任せる。他社でも活躍できる人に育てる（大寺） ・ 社外に出て活動してもらおう、帰りやすい、休みやすい環境をつくる（中根） ・ 環境（職場）とモチベーション。仕事内容、量の管理をするシステム作り→本人のやる気を引き出す ・ 女性ならではのよさ 働かせ方（末次） ・ 会社及び社会の仕組みを再構築する必要がある（花岡） ・ 仕事量と仕事を管理、チェックする部門[外資] ・ ちょっと抜けても大丈夫な職場（学校行事・通院）、帰りやすい（定時）職

	<p>場（小藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的に仕事ができる。休みやすい（豊崎） ・ 男性の育休・看護休暇？（中本） ・ 会社の制度 子育て フレックスタイム！（春口） ・ 長く働くことを前提。ゆっくり成長（大寺）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性は本当に定着してない？現場のトイレ問題（末次）
<p>在宅ワーク・働き方改革について コロナ禍における業務の課題と対策方法について</p>	
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレワーク、在宅ワークでの残業時間の取扱いはどうしてますか（富士） ・ 個人の力量を尊重する（中根） ・ 意識改革。時間ではなく密度で評価。集中していると8時間でへとへとになる（春口）
正の側面（プラス）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅ワークあり（OK!）。通勤ロス、ストレス減。体が楽（RB）
負の側面（マイナス）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集中でき効率的な在宅ワークとは？どの様な作業が適するのか？（岡本） ・ オンとオフの切り替え、新人教育が難しい（富士） ・ 家であまり仕事したくない…（岩井） ・ 対人でしかできないものも多い
セキュリティ・ネット環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモート環境の促進と政策的な推進が必要（花岡） ・ パソコンの置場、ネット環境不安（小藤） ・ ネットワーク（ソフト）の問題。データの漏えい。時間の管理。WEB会議がはやっているが、発言する時の時間のズレが早く解消できる通信状況、設備がととのってほしい（馬場） ・ ネット・セキュリティ環境が整ってないため在宅でできない業務がある（日野） ・ ズーム会議は移動時間をカットできる。顔を見て話せる（春口） ・ モニターが2つ必要。セキュリティ。出退連絡方法。仕事量把握（RB） ・ セキュリティ、ソフトが使えない（大寺） ・ 出勤プログラム作成。webの活用・セキュリティ（移動時間減と効率化）ソフトのselect／リアルとの違い？（RB） ・ 情報の共有を簡単にしていく（中根） ・ 出勤場所の選択（岡本） ・ セキュリティレベルで持ち出せるものを決める

4. 意見交換の様子 (写真)



写真 2. 意見交換の様子



写真 3. 意見交換の様子

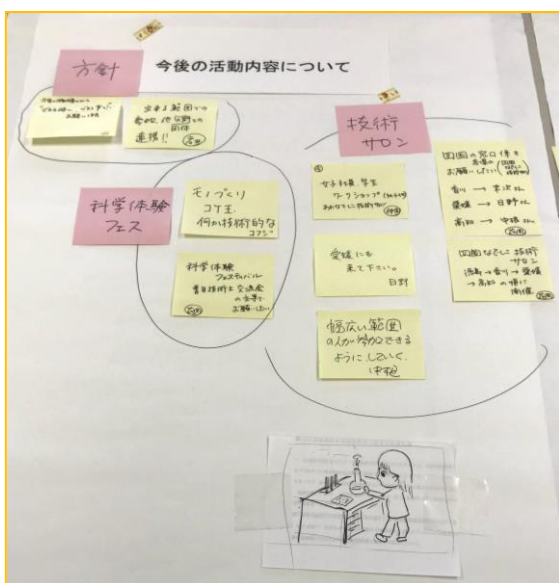


写真 4. 意見まとめの模造紙 (今後の活動内容)



写真 5. 意見まとめの模造紙 (女子社員の定着)

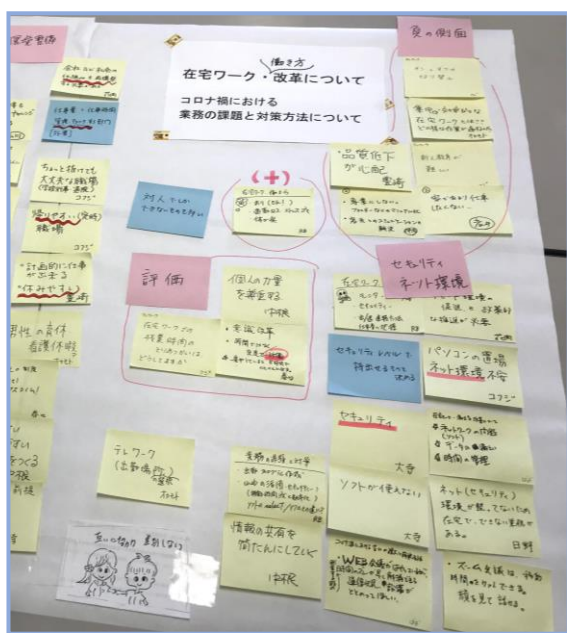


写真 6. 意見まとめの模造紙 (在宅ワーク・働き方改革)

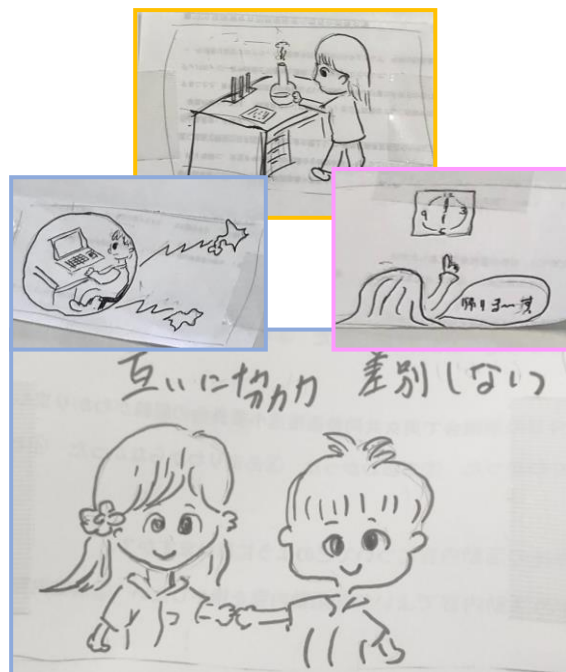


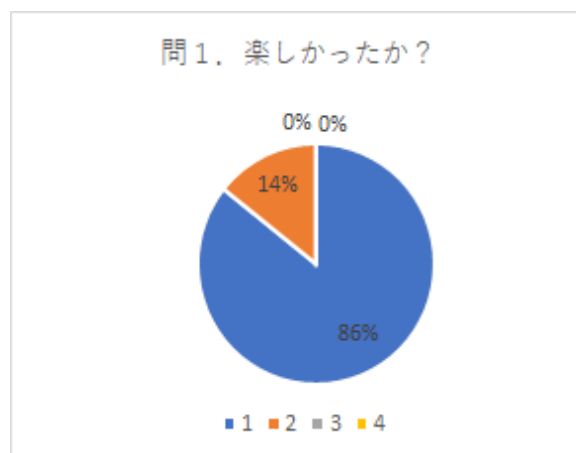
写真 7. 意見交換模造紙中のイラスト (春口氏)

5. アンケートまとめ

1) 問1. 楽しかったか？

問1では、今回の勉強会が楽しかったかどうかについて択一回答を促した。

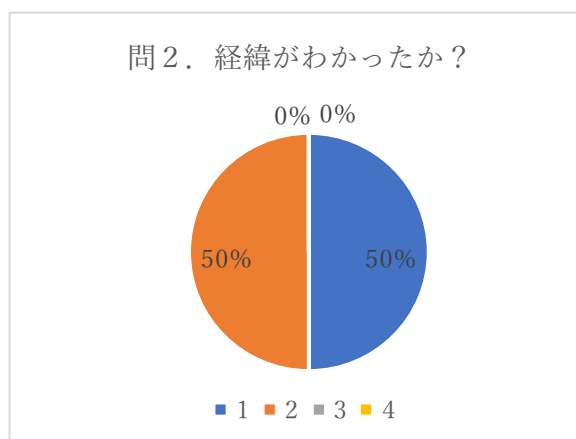
86%（14名中12名）が楽しかった、14%（14名中2名）がまあ楽しかったと回答し、楽しくなかったと回答した人はいなかった。概ね楽しかったことが伺える。



問2. 男女共同推進小委員会の経緯がわかったか？

問2では、男女共同参画推進小委員会の経緯の説明についてわかったかどうかについて択一回答を促した。

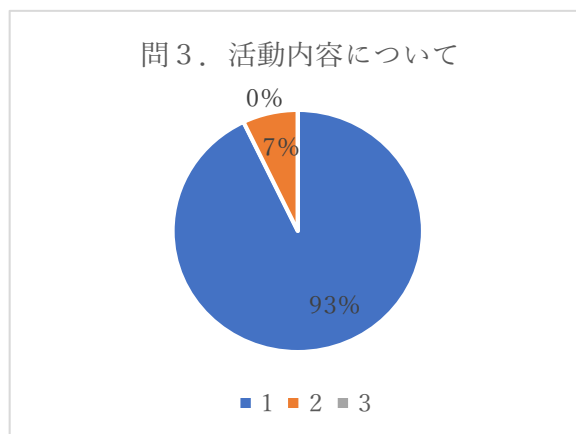
50%（14名中7名）がよくわかった、50%（14名中7名）がまあわかったと回答し、わからなかったと回答した人はいなかった。概ね経緯について理解を得られたことが伺える。



2) 問3. 今後の活動内容について

問3では、今後の本委員会の活動内容について択一回答を促した。

93%（14名中13名）が現在の活動内容で良いと回答し、7%（14名中1名）が活動内容を増やしたいと回答した。増やしたい活動内容については問4で示すが、現在の活動である「四国なでしこ技術サロン」の中でも解決できる内容でもあるため、当面は現在の活動内容で良いと判断できる。



3) 問4. 増やしたい活動内容について

問4では、問3において活動内容を増やしたいと回答した人に活動内容を問う設問で、以下の回答を得られた。

記述の活動内容	悩んでいる若い子たちの支えになれる活動
---------	---------------------

4) 問5. 意見を言えたか？

問5では、自分の意見が言えたかどうかについて択一回答を促した。

50%（14名中7名）が言えた、50%（14名中7名）がまあ言えたと回答し、意見が言えなかったと回答

した人はいなかった。概ね自分の意見が言えたことが伺えるが、2 時間という時間制約があったため、時間設定をもう少し長くすれば、もっと満足度が上がったのではないかと推察される。

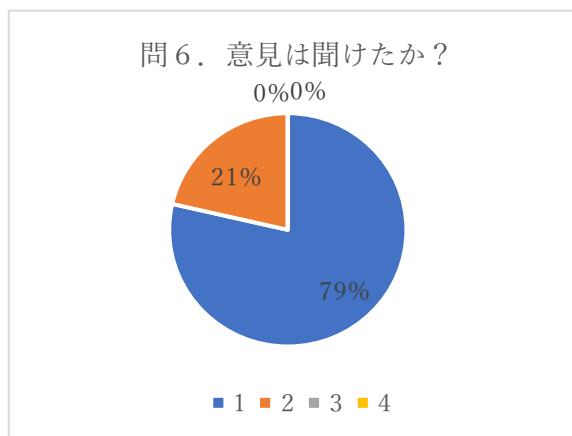
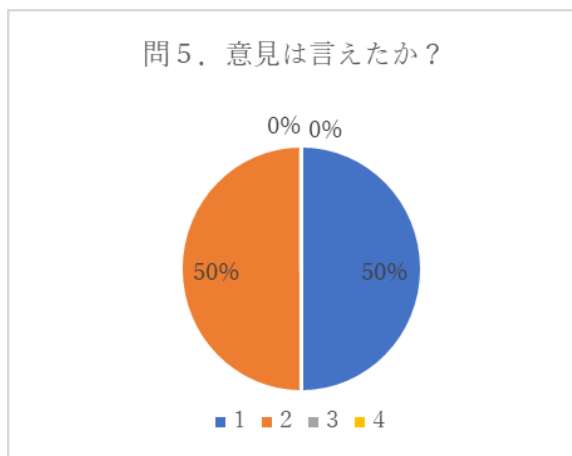
5) 問6. 意見が聞けたか？

問6では、他の人の意見が聞けたかどうかについて択一回答を促した。

79%(14名中11名)が聞けた、21%(14名中3名)がまあ聞けたと回答し、意見が聞けなかったと回答した人はいなかった。概ね他の人の意見が聞けたことが伺える。

6) 問7. 今後の小委員会のあり方について

問7では、今後の小委員会のあり方について自由回答を促した。以下にそれぞれの記述回答をキーワードでまとめて記載する。



抜粋キーワード	記述回答
ネットワークを広げる	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークを広げるためのリクルートが必要 ・どんどん場を広げながら続けてほしいです ・各県での開催を楽しみにしています
前に進もう	<ul style="list-style-type: none"> ・とにかく前に進みましょう ・今後も意見を出し合って成長曲線をつくる
出来ることを出来る人が	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで同様、出来ることを出来る人が楽しく活動して行ければと思います ・このまま楽しく ・こんな感じでお願いします。ありがとうございます ・ざっくばらんな雰囲気を保ち続けたいです
感想	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況等で社会情勢が大きく変わる、変わっているときに取り組みを聞いたことが大変有意義でした。ありがとうございました ・コロナが終息してもっと集まれるようになることを待っています

6. 新型コロナウイルス感染予防対策

新型コロナウイルス感染予防対策として、参加者全員がマスクを装着し、手指消毒液により手指の消毒を行った。また、会場は、加湿機能を有した空気清浄機の設置と、換気の十分できる窓を有しており、当日、温暖であったため窓を開けて開催した。